

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	みらいりんく		公表日	2026年 4月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	活動内容（静的な活動・動的な活動）に応じ、マットの敷設によるゾーニングや、食事・学習スペースの切り分けを徹底し、児童同士の適切な距離感と安全な活動スペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	児童一人ひとりの特性や、その日の活動内容（外出・創作活動等）に応じ、法令基準を上回る柔軟なスタッフ配置を行い、手厚い支援体制を維持しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	除菌電解水（ジアレボ等）を用いた毎日の清掃・消毒をルーチン化し、衛生管理を徹底しています。また、児童の情緒安定と集中力向上を考慮し、清潔で落ち着いた環境づくりに努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	体調不良時の静養室の確保に加え、クールダウンが必要な児童や個別の集中を要する児童に対し、パーティション等で区切られた個別の支援スペースを迅速に提供できる体制を整えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	排泄支援やトイレトレーニング等の日常支援において、客観的なデータを収集・分析し、職員間で共有・検討することで、支援目標の更新や手法の統一（PDCAサイクル）を適切に図っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		保護者アンケート等でいただいた貴重なご意見は、職員会議にて速やかに共有し、具体的な改善策や支援への反映について協議する体制を整えています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	86%	14%		自己評価に加え、第三者評価等の外部視点による客観的な評価を積極的に受審し、事業所の運営体制や支援の質のさらなる向上に繋げていくことを目指します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	外部研修への積極的な参加を促すとともに、法人内での定期的な事例検討会や伝達研修を開催し、全職員の専門知識の底上げと質の均質化に努めています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	保護者面談を通じてニーズを丁寧に汲み取り、客観的な視点で計画を作成しています	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	「やおっこファイル」等のツールを活用し、児童の適応行動や発達状況を多角的に把握しています。収集したデータは蓄積し、客観的な根拠に基づいたアセスメントの実施に繋がっています。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		日々の行動観察や対話から得られる気づきをより深く考察し、「本人支援」「家族支援」「地域連携」の各視点から、より具体的かつ実効性の高い支援内容の設定に努めています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	職員全員がプログラム立案に参画できるよう、定期的な研修や検討の機会を設け、チーム全体の専門性を活かした質の高いプログラムづくりを行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	季節行事や新しい教具の導入、児童の興味関心の変化に応じた柔軟なプログラム変更を行っています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	児童発達支援計画に基づき、利用時間内に個別支援と集団活動の時間を明確に区分して設定しています。児童一人ひとりの状況に合わせた、メリハリのあるプログラムを提供しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	支援開始前に必ずミーティングを行い、当日の主担当・副担当等の役割分担や、特に配慮を要する事項の共有を徹底し、チーム連携を強化しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	終礼時のミーティングにて各児童の様子を振り返り、業務日誌等への記録を通じて職員間での情報共有と支援の質の標準化を図っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々の支援内容を詳細に記録し、週単位・月単位での検証を行うことで、支援の改善（PDCA）に繋げています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	サービス担当者会議等には、当該児童の支援を直接担当し、状況を深く理解している職員が参画しています。会議での決定事項や助言は、会議記録に基づき職員会議等で迅速に共有し、支援計画へ反映させています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	100%	0%		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	自立支援協議会等の地域会議には継続的に参加しています。地域の福祉動向やニーズを把握し、自施設の支援に活かすとともに、地域連携の強化に努めています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	43%	57%		個別支援への助言やスーパーバイズを受ける機会を拡充します。外部の専門的知見を積極的に取り入れ、支援技術の向上と質の担保を図ります。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	保育所等との相互参観や情報共有を徹底しています。また、公園遊び等を通じて他児との自然な交流を促し、地域社会への参加（インクルージョン）を支援しています。		

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	家庭療育を支えるため、発達理解や接し方のコツ等を毎月情報提供しています。今後は保護者のニーズに応じた学習会やペアトレ等を一層充実させます。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	お便りやSNS等を通じた迅速な情報発信を行い、保護者との連絡体制を常にオープンに保つことで、安心感に繋がるよう努めています。	活動内容がより視覚的に伝わるよう工夫し、日々の療育の様子を定期的かつ効果的に発信する取り組みを継続・強化します。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		現在は地域の行事への参加が主ですが、今後は地域住民を事業所に招くイベントの企画等を行い、地域との交流機会をさらに深める努力を継続します。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種リスクマネジメントマニュアルを完備し、委員会による定期的な見直しと職員研修を継続することで、組織的な対応力を維持しています。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	2ヶ月に1回の定期訓練を実施し、都度マニュアルの検証・更新を行っています。有事の際も支援を継続できる体制を整えています。	訓練の実施報告を充実させるとともに、今後は保護者も参加できる公開訓練を計画し、家庭との防災連携を強化していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	児童個別の服薬状況や既往症を正確に把握し、職員間での情報共有を徹底することで、日常的な安全管理に万全を期しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%		